

講義科目 : 会社法 (53期生)	単位数 : 4
: 商法 I (52・51・50期生)	学習形態 : 選択科目
担当 : 名島 利喜	

講義の内容・方法および到達目標

- ・会社の組織と行動に関する基本ルールを定める会社法全般について概説を行なう。会社、とりわけ株式会社に関する法規制および条文の解釈についての判例学説の状況を、初学者にも理解できるように説明する。
- ・会社法は制度論であるといえる。そこで、何のために、どのような制度ができているか、その内容と意義を的確に理解できるようにする。そのうえで、会社法の諸制度が、経済社会でどのように機能しているのかを知ることを目標にする。

授業計画

第1回	オリエンテーション・会社の起源	第16回	株式会社の機関構造
第2回	会社法と会社	第17回	株主総会の権限
第3回	会社の実態と法律上の定義	第18回	株主総会の招集・運営
第4回	会社の権利能力	第19回	株主総会決議の瑕疵
第5回	会社の法人性	第20回	取締役
第6回	資本制度	第21回	取締役会
第7回	株式制度	第22回	代表取締役
第8回	株式会社の設立① (意義・手続)	第23回	取締役の義務と報酬
第9回	株式会社の設立② (法規制)	第24回	取締役の責任
第10回	株式譲渡自由の原則	第25回	株主代表訴訟
第11回	株式の公開	第26回	監査役・監査役会
第12回	株式譲渡の制限	第27回	会計監査人
第13回	自己株式の取得	第28回	会社の資金調達
第14回	親子会社関係	第29回	組織再編行為
第15回	株式相互保有	第30回	持分会社等

教材・テキスト・参考文献等

- ・教材：最新版の六法（小型のものでよい）。
- ・テキスト：特に指定しない（講義中に紹介する）。
- ・このほか適宜プリントを配布する。

成績評価方法

- ・定期試験（60%）、平常点（40%）で成績評価を行います。
- ・毎回出席をとります。10回を超える欠席をした場合、評価対象外となります。
- ・平常点は出席および講義中に実施する小テストの結果を総合的に評価します。

その他

- ・毎回の講義を欠かさず聞くことを大事にしてほしい。
- ・株式会社法の制度的側面ばかりではなく、日本経済新聞等に目を通したりして、わが国の会社経営の実状についても視野を広めてほしい。